

**大袋地区コミュニティ推進協議会だより
おおぶくろ**

第53号 2021年4月発行

~みんながまちを支え、梅かおる自然と調和した、やすらぎの大袋~

発行/大袋地区コミュニティ推進協議会(事務局・大袋地区センター・公民館内) 編集/広報部会
〒343-034 越谷市大字大竹16C-2 TEL 975-3952 FAX 975-3995

令和3年3月6日(土)・7日
(日)に開催を予定していました
今年度の「越谷梅林公園梅まつり」
は、感染拡大防止のため、協議の
結果、中止と決定いたしました。
昨年度に続いての中止となつたこ
とは、誠に残念でありますが、何
卒ご理解のほど、お願ひ申し上げ
ます。来年度は無事に開催できま
すことを願っております。

他の方会においてもコロナ禍の
中、工夫や対策を行ながら活動
されていることについても厚く感
謝申し上げます。



植樹した梅の木

近年、病気や虫食い、生育不良
などが原因で枯れる木が増えてき
たため、梅まつりの開催に合わせ
て梅の木を植樹する活動を行つて
います。

植樹活動は第20回梅まつりから
始まり、一昨年は梅まつり開始から
25周年を迎えた記念として市長
と実行委員長による植樹式が行わ
れました。また、第24回から植樹
活動を促進するため、梅まつり内
で植樹の募金を開始しました。

今年度は、梅まつりの開催中止
になりましたが、大袋の梅の保全
活動は続けたいという考え方から、
大袋地区コミュニティ推進協議会
で梅の木2本(南高梅)の植樹を
3月6日(土)に行いました。

今後も、地域の皆様にきれいな



梅林公園の梅



大袋地区コミュニティ推進協議会記念撮影

満開の梅を楽しんでいただけよう、植樹を続けていき、減少傾向にある梅を増やし守っていきたいと考えています。

第27回 越谷梅林公園 梅まつりは中止となりました。

【梅の木の植樹】

満開の梅を楽しんでいただけよう、植樹を続けていき、減少傾向にある梅を増やし守っていきたいと考えています。

天気の良い時には、日ごろの運動不足やストレスの解消に緑道を散策してみてはいかがでしょうか。

根河原(ねがわら)緑道
名だたる大河「荒川」の本流の跡です。江戸時代初めまで、元荒川の前身の「荒川」は、〆切橋の少し上流で90度左に曲がって、東へすすみ、日光街道のあたりで右に曲がり、北中学校の東側から国道4号線バイパスの南で右に折れ、この緑道のあたりを通って梅林公園付近で現在の流れに戻っていました。荒川の曲流の貴重な痕跡がこの緑道なのです。そして、昔は、荒川は西側が武藏、東側が下総という国境になつていました。

私たちの住む大袋地区に関係があるのは、①根河原(ねがわら)緑道、②新方川緑道、③須賀(すか)用水緑道、④間久里川緑道、⑤元荒川緑道の5つです。今回は、そのうちの3つの緑道を紹介します。

越谷市内には、市の設置する緑道が17あります。緑につつまれ、緑を楽しみながら安全に通行できる、歩行者・自転車専用道路です。私たちの住む大袋地区に関係があるのは、①根河原(ねがわら)緑道、②新方川緑道、③須賀(すか)用水緑道、④間久里川緑道、⑤元荒川緑道の5つです。今回、そのうちの3つの緑道を紹介します。

大袋の緑道 51

さいたま市岩槻区にある末田須賀(すえだすがせき)から、越谷方面に農業用水を流す須賀用水に沿った緑道です。緑道は県立大学の西南角の五差路から始まるのですが、ぜひ、一度は須賀用水に沿って、元荒川・永代橋近くにある取水口まで足を伸ばしてください。越谷市域は県立大学の敷地の300mほど北から始まります。

敷地の反対側の400mほど西には江戸時代の日本一の力持ち、三ノ宮卯之助のホームグラウンドの三野宮香取神社があり、その持



根河原緑道

さいたま市岩槻区にある末田須賀(すえだすがせき)から、越谷方面に農業用水を流す須賀用水に沿った緑道です。緑道は県立大学の西南角の五差路から始まるのですが、ぜひ、一度は須賀用水に沿って、元荒川・永代橋近くにある取水口まで足を伸ばしてください。越谷市域は県立大学の敷地の300mほど北から始まります。



(文責)越谷市郷土研究会会員 宮川進
会友 宮川進

ち上げた力石が520キロのものを含め4つあります。大学からもう一つ南の五差路で650mの緑道は終わります。

間久里川緑道
須賀用水から分かれ恩間・間久里に水を運ぶ間久里川の暗渠(あんきょ)の上の緑道です。間久里川は昔の荒川の曲流の跡に造られ、緑道は東武線の緑路まで終わります。線路に沿い少し大袋駅側に、荒川の作った河岸砂丘が農地と順天堂医院の敷地に広く残っています。ラクダはいないことをご了承ください。

今年度最終となる「コミ協」だより、第53号を発行した。梅まつり、研修会、講演会等がコロナ禍で中止となり、本号の記事は通常と異なるが、「知つてますか?大袋」では越谷市郷土研究会会員の宮川進氏に「大袋の緑道」の執筆をお願いすることことができた。

一方、幸いなことに、新型コロナウイルスの収束に向けて、ワクチン承認の手続きが進み、接種が始まつた。

編集を終えた現在、広報部会の思いは一つ、「一日も早いコロナ収束」である。(北山隆司)

編集後記

プリントバッグ
(緑・ピンク)
500円

おひらく
ウメブクロ



大袋地区コミュニティ推進協議会のマスコットキャラクター「ウメブクロ」のグッズを大袋地区センターで販売中です! 詳細は大袋地区センター・公民館までお問い合わせください。

環境部会では、子どもが花と親しむ機会を増やし、花や環境への関心を持つことを目的とし、地区内の保育所や保育園・幼稚園・小学校へ合計1,440個のチュー リップの球根を配付しました。



清掃活動を行ったコミ協環境部会

環境部会では、西大袋地区的シンボルとなっている調整池周辺の環境美化活動として、除草や清掃活動を10月に行いました。

西大袋地区調整池 周辺の美化活動



小学校の回収箱



回収したエコキャップ

環境部会では、ペットボトルのキャップを回収し、焼却処分により発生するCO₂を抑制するとともに、世界中の子どもたちにワクチンを寄付する活動に賛同してペットボトルキャップの回収（エコキャップ）活動を行っています。

エコキャップ回収活動



世界の子どもにワクチンを届けよう! ～ペットボトルのキャップで～

ペットボトルの「キャップ」の焼却は有害

大量に廃棄されている「ペットボトルのキャップ」はゴミとして焼却されると、キャップ500個で3,050gの有害な二酸化炭素(CO₂)が発生し、問題化しています。

キャップを「分別、収集すると価値ある資源」に

キャップをエコキャップとして分別し、収集すると価値ある資源に再生されます。また、エコキャップ500個で小児麻痺等に効くボリオワクチンに生まれ変わり、子ども1人の命が救えます。

大袋地区コミュニティ推進協議会の キャップ回収状況

大袋地区コミ協では、平成22年から皆様のご協力を得てキャップの回収を行っています。

★大袋地区センター又は千間台記念館へお持ち下さい。

大袋地区回収数	
H29年度	14,620個
H30年度	60,200個
R元年度	226,180個
R2年度	514,800個

エコキャップの流れ



地区的皆様、エコキャップ活動へのご協力をお願いいたします。大袋地区センター又は千間台記念館までお持ちください。また、量が多い場合は、大袋地区センターまでご連絡下さい。皆様の御協力をお願いいたします。

世界の子どもを救おう!
キヤップの収集に
ご協力を!



平成30年度児童画コンクールの様子

大袋地区児童画コンクールは、大袋地区内小学校（大袋小学校・大袋東小学校・大袋北小学校・千間台小学校）の児童に、大袋地区をより一層知つていただくことを目的として「大袋の風景」をテーマに絵を募集しているイベントです。

児童画作品展

《児童画コンクール》

形式を梅まつりのイベントの一環として行い、児童と地区内の方の交流の機会となっています。



平成30年度の表彰式の様子

ンせんげん台店ご協力のもと成功に終わることができました。

今年度の「梅まつり」は中止となりましたが、児童にとっての地域交流の機会を作ることはできなかたと考え、作品の展示会として名称を「児童画作品展」と改め3月1日（月）から3月14日（日）までの期間でイオンせんげん台店にて開催しました。入選児童に対して対面での表彰式等はできませんでしたが、入選された児童には各小学校を通じて記念品をお渡ししました。開催期間中は、入選された児童とそのご家族の他、イオンせんげん台店に買い物で来店された地区の方々等、多くの方に児童の作品を見ていただくことができ、イオン



ウメブクロもマスクを着けて散策



児童画作品展の様子

広報部会では、パンフレット「越谷梅林公園」を編集・発行し、2月に地区内全住帯に配布いたしました。残念ながらイベントとしての「梅まつり」は中止になりましたが、梅は寒さの中でも負けずに戦っていました。

「梅まつり」は中止になりましたが、梅は寒さの中でも負けずに戦っていました。

パンフレット「越谷梅林公園」

パンフレット 「越谷梅林公園」の発行

